

判定用紙

日付: 3/8

準決勝 / 決勝

試合会場: opening

肯定側: 3(明)の7+

否定側: D-Net e

判定理由・コメント

Case から読みます。

まず、Aff が言うように、Neg の Case Attack から 100% AD を打ち回しているから Neg に行きつかない(その限り)。DA (テキスト) も削り込んで残った中で、AD、U.S. DA とは別の Case Attack は Round にない(という) (ないことになり、削り込み残額が同じ) とする。Workshating (やない) という削り込み残額も削り込み残額として 100% とは考えられない。コスト削減が持つ以上、SQ は何らかのエアラインに導入する企業が示す。その可能性は 475k 程度に示す。と、する。削り込み残額、削り込み金の存在を考えると、ZAR の言うように、全てが削り込みではない。よって Case は削り込みで残り、DA も同程度削り込みで削り込み。

DA

まず、現状分析が甘い。
Aff が出ている DA

このディベートにおける勝者は: Affirmative 3(AA)の7+

SQ は、1 回のリターンがもう 1 回 (かたがた) = Plan をとると有利になる。
⇒ この TA の有効な面はない。

また、SQ は、1 リターン (= 1 回) しか選取般から残った。
Plan をとると低コストで削減がある。

この 2 つの削減を比較すると Aff の Comparison に従う(という)。

また、まず、total の件数から上か下か (リンク) 評価がとれている (Link がほとんどの DA と (7) は DA = 0 と total 7。

$$AD + TA \text{ on } DA > DA (= 0)$$

→ Aff

審査員署名